

# バイオビジネス環境学特論Ⅰ (2単位)

担当者氏名 藤本彰三

◆学習・教育目標

農業生産を中心とするバイオビジネス(BB)の成立および経営成長とビジネス環境との相互関係を理論的実証的に教育研究し、環境学の視点からバイオビジネスと生物産業の発展課題と方向性を究明する。バイオビジネスの環境は自然環境に限定されない。むしろ、政策・制度を含む社会文化条件と市場態様や技術変化を含む経済条件がビジネス経営の成立と展開に重要な役割を果たすため、本特論では日本および発展途上国の農業を対象として経営環境と経営対応のあり方を理解し経営成長理論を深化させる。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

経営環境                      経営成長                      発展途上国                      農業経営  
経営対応                      \_\_\_\_\_                      \_\_\_\_\_                      \_\_\_\_\_

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-2	BB 環境学の目的と方法	国際バイオビジネス学とバイオビジネス環境学	配布資料と紹介文献の熟読
3-4	バイオビジネス環境	バイオビジネスの環境(自然、社会文化、経済)	
5-6	環境と経営の理論	環境共生、環境調整、環境適応の諸理論	
7-8	経営成長理論	農業経営成果の把握と拡大方法	
9-10	農業政策・制度の変化	途上国における農業政策・制度の変化	
11-12	市場変化	途上国農業の市場変化(要素市場と農産物市場)	
13-15	技術変化	途上国における農業技術変化	

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

- (1) 藤本彰三・松田藤四郎編著『代替農業の探究』(東京農大出版会、2005年)
- (2) 藤本彰三・松田藤四郎編著、『代替農業の推進』(東京農大出版会、2006年)
- (3) 藤本彰三「バイオビジネスと環境」平尾正之・門間敏幸・井形雅代編著『バイオビジネス・7』(家の光協会、2008年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

- (1) 中安定子・荏開津典生編、農業経済研究の動向と展望(富民協会、1996年)
- (2) 長 憲次編、農業経営研究の課題と方向(日本経済評論社、1993年)

◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

小テスト 50%、レポート 50%

◆その他受講上の注意事項